

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

## No.41 抱っこ紐からの転落による頭部外傷 類似事例 3 (クーハン)

事例	年齢：生後 12 日 性別：男児 体重：3.24 kg 身長：50.2cm	
傷害の種類	転落	
原因対象物	クーハン (生後 4 か月未満程度の乳児を乗せて運べるようにした、手提げ式のかご)	
臨床診断名	頭蓋骨線状骨折	
医療費	242,230 円 (10 割)	
発生状況	発生場所	自宅前の道路
	周囲の人・状況	母親と患児のみ
	発生年月日・時刻	2017 年 9 月 19 日 午後 4 時 0 分
	発生時の詳しい様子 と経緯	身長 150cm の母親がクーハン (図 1) を肩にかけたまま、玄関のドアを開けようとしたところ、クーハンの両ひもが肩から滑り落ちた。クーハンの中に入っていた患児は 90cm 程度の高さから外に投げ出されてコンクリートの地面に転落した (図 2、図 3)。母親は表面が滑らかなシャツを着用していた。
治療経過と予後	<p>2017 年 9 月 19 日午後 4 時に転落した。患児は転落後すぐに啼泣し活気も良かったが、左側頭部が膨隆してきたため、午後 6 時に当院救急センターを受診した。</p> <p>視診にて左側頭部に直径 4cm 程度の膨隆と触診にて骨の歪みを認めた。頭部以外には打撲痕はなく、頭から転落したと思われた。頭部 CT を施行し、皮下血腫及び左頭頂骨骨折と診断した (図 4)。頭蓋内損傷は認めなかった。脳神経外科にコンサルトし、経過観察入院と画像によるフォローアップの方針となった。また来院時に、体温 38.4℃の発熱を認めたため、菌血症の可能性を危惧し熱源精査と抗菌薬投与を開始した。来院 6 時間後には解熱した。</p> <p>9 月 20 日、22 日と頭部エコーを施行し、頭蓋内出血や硬膜下の血腫形成がないことを確認した。入院経過中、患児の活気・哺乳は良好であり、培養検査が陰性であったことを確認して、9 月 23 日に退院とした。</p>	



図 1. クーハンの実物写真。新生児と一緒におもちゃやタオルなども詰め込める構造をしている。



図 2. 事故時の状況を再現しクーハンに肩掛けしている写真。クーハンの添付文書には肩掛けはしないように記載されていたが、紐が長く肩に掛けることが可能である。



図 3. 推測される事故時のイラスト（母親から聞いた受傷状況をもとに投稿者が作成）。

- ① 右肩にクーハンのひもをかけて移動中
- ②③ 右肩からひもが滑り落ちる
- ④ ひもが右上肢から離れ、患児が投げ出される
- ⑤ 患児が地面に転落



図 4. 頭蓋骨の 3D-CT。左頭頂骨骨折を認める。